

The World Citizen

平成30年度 第1回学校評価保護者アンケートの結果と改善策について

今回のアンケートは、全校で618人の保護者の方にご回答をいただきました。皆様のご協力に感謝申し上げます。アンケートの集計結果がまとまりましたので、お知らせいたします。お寄せいただいた貴重なご意見をもとに、日々の教育活動の工夫・改善に努めていきたいと考えております。

* 集計結果は、生徒・保護者の「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計割合(%)です。

評価項目	第1回集計結果		今後に向けての改善策
	前期	後期	
1 子どもは家庭や地域でも自分から進んであいさつをする。	91	89	現在の取組を継続しつつ、「心を開いて相手にせまる」という挨拶の持つ意味を理解させ、より多くの教師が生徒に声かけできるように、あらゆる場面で行う。
2 子どもは家庭や地域でも意欲的に清掃活動に取り組む。	73	68	保護者による評価が低いので、PTAの力も借りて改善を図る。清掃は心身の健康にとって重要であることを認識させたい。
3 子どもは学校が好きである。	95	87	現在の取組を継続しつつ、奉仕活動等を通して生活(学習)環境を整備し、生徒が自身の可能性を広げることできる環境を整備していく。
4 子どもは英語や外国文化に興味がある。	90	84	現在の取組を継続しつつ、より良い授業を目指し改善を加えながら、より実践的なコミュニケーション場面や課題解決型の活動を増やし、実用能力を高める。
5 イングリッシュキャンプやスピーチコンテスト、海外修学旅行などにより、子どもの国際コミュニケーション能力は高まっている。	89	82	各学年において、授業と行事を関連付けながら、興味関心や意欲を高められるように行事の改善や工夫をしていく。
6 学校は、授業や学校行事を通じて我が国の文化・伝統に触れる機会を設けている。	95	90	現在の取組を継続し、各行事、各教科ごとに日本及び世界の文化・伝統と関連させた内容を、常に取り上げるよう心がける。
7 子どもたちには、確かな学力身につけている。	86	89	現在の取組を継続しながら、年2回実施する授業アンケートの結果も加え、個々の生徒の理解度の正確な把握と個別指導を充実させる。
8 英語や数学の少人数学級は生徒の学力向上に効果がある。	93	93	指導する教師間で少人数指導のメリットを再確認し、生徒の状況に合わせて指導を改善していく。
9 子どもは、自分なりの目標をもって学習に取り組んでいる。	88	89	生徒が生き生きと学ぶ授業をめざし、全職員が生徒の発達段階(基礎期、充実期、発展期)に応じた授業づくりにつとめる。
10 子どもは、毎日家庭学習に取り組む習慣が身につけている。	81	81	生徒が自己有用感を感じ、かつ適切な負荷のかかる課題の課し方を教科・学年で検討する。
11 子どもの様子から、子どもは先生との信頼関係が築けている。	89	87	現在の取組を継続しつつ、生徒の言動に注視し、「すべては生徒の成長のために」適切なタイミングで叱咤激励を行なう。
12 学校生活を通して、子どもはクラスの友人とよりよい人間関係を築いている。	96	94	現在の取組を継続しつつ、互いの価値観を共有し、お互いに高め合える集団を目指していく。
13 子どもは自分の健康に留意して生活している。	85	83	タイムリーな健康関連情報提供をさらに充実させ、興味関心を喚起する。
14 子どもは、部活動や委員会活動に積極的に取り組んでいる。	95	81	3年生から4年生にかけての部活動加入のスムーズな展開と4年次以降の部活動継続の声掛けを徹底する等、現状の取組を維持する。
15 学校はいじめ防止に努め、いじめが発生した場合にも解消してくれた。	88	85	現在の取組を継続しつつ、いじめの定義を周知徹底し、いじめの認知を積極的にこなっていく。その上で、「いじめは何があっても許さない」という姿勢を貫き、よりきめ細かい対応として生徒への面談等を実施し関係を密にしていく。
16 子どもは、自己を理解したうえで将来の職業を選択しようと考えている。	84	93	<充実期>生徒が<基礎期>生徒がこれまでの学校生活・家庭生活の中で果たした役割を再認識し、自己の特性を正しく理解・認識する指導を行う。自己の特性をふまえ、グローバル社会に生きるWorld Citizenとして自らの職業を意識する指導を行う。
17 子どもは、自分自身の進路に関する意識を有している。(後期課程のみ)		95	<発展期>生徒が自ら進路目標を立て、自らの努力でそれを実現する「第一志望校、現役合格」の意識を確立する指導を行う。
18 子どもは進路希望を理解している。	84	91	保護者会等の行事後に、家庭における親子のコミュニケーションを促す。
19 学校から、生徒・保護者に必要な進路情報の提供を受けている。	78	89	各学年が必要とする進路情報を精査し、学年・学級通信等の内容として保護者に向けて発信する。
20 進路講演会や進路関連行事は、子どもの成長が伺える機会であり有益である。	90	87	現在が高次接続改革期にあたることをふまえ、それに関する適切な情報を入手し、生徒・保護者に理解を求める。

21	学校のwebページには、新しい情報が定期的に載っている。	91	82	学校行事や関連する情報に加え、授業の様子や志願者に対する情報等をタイムリーに更新することを心掛ける。
22	保護者向け学校行事は、子どもの成長が伺える機会であり有益である。	94	94	関係各部との連携のもと現在の取組を継続する。
23	学校は、適切に文書やメール等で連絡してくれる。	88	90	一斉メールの運用を適切に行うこと等により、保護者にとって有意義な情報が各部署から適切なタイミングで発信されるように努力する。
24	学校はPTA(保護者)と連携し、奉仕活動などの地域活動を行っている。	89	70	恒例行事として定着した感のある地域美化活動を引き続き実施するとともに、活動の事実を周知するように引き続き努める。
25	交通安全教室や防災避難訓練は子どもの安全意識向上に役立っている。	95	90	現在の取組を継続しつつ、「交通事故は命に関わることを念頭に、交通指導を通してより生徒が実感できる内容にしていく。
26	学校の施設・設備は整備され、安全である。	93	87	生活安全、災害安全のための点検を、職員と生徒、両者の視点からしっかり実施する。

○第1回学校評価保護者アンケート自由記述欄より

多くの貴重なご意見やご提案をいただいております。ご協力いただき、ありがとうございました。その中で、主だった意見とその対応について報告いたします。その他の意見や提案もありがたく頂戴いたしました。中には予算等の面で実施が難しいものもありますが、一つ一つ解決に向けて検討し、より良い学校運営に生かしてまいります。

○中等の北側の道路状況

本校では、自立通学を、生徒と保護者の方をお願いしています。

しかし、家庭の事情により迎えに来なければならない状態も発生しているようです。迎えに来る際に、中等の北側の道路に駐車して待っている場合を多く見かけますが、渋滞が発生しご近所の方に迷惑をかけてしまいます。仕方なく迎えに来なければならない場合には、お願いがあります。

車は、東から西に向かって通行するようにしていただき、鉄塔下駐車場に停めてください。

このルールを以前から中等では決めています。北側の道路のスムーズな通行を確保できるようにご協力をお願いします。

○交通安全への対応

自転車の乗り方のマナーについては、中等生のマナーについて「とてもよい」と感じている保護者の方と「悪い」と感じている保護者の方が両方いるようです。たぶん生活の中で目にする生徒は同じ生徒が多いでしょうから判断が分かれているのだと思います。全体的にはよいマナーだと考えていますが、一部には悪い生徒がいるというのが実態だと思います。交通安全は、命に関わる重要なことです。4月に毎年行われる交通安全教室や、年4回PTAと協力して行われるマナーアップ運動、1学期に3回行う登校時交通指導等を通じて交通安全を呼びかけていきます。また、交通安全週間・月間の際には担任を通じて啓発していきたいと思っております。

○宿題・課題について

宿題・課題に関するギャップは、1年生で感じる人が多いように思います。高学年になるにつれて中等の学習や生活のリズムが捕らえられるようになってきます。1年生段階では、登校を含めた学校生活が大きく変わります。中等は卒業後大学進学等、次のステージを見据えた学習をしていますから、各段階で身につけさせたい力を各教科の先生が把握しています。そのため高度な課題や量の多い宿題が出る場合があります。宿題・課題を出すタイミングは授業の進捗が関係するので各教科間での調整は難しい面がありますが、昨年校長先生の指示の下、各学年で教科間の宿題・課題の調整をしています。今後はこれに加えて、担任の先生もフォローに入れるように学級担任が宿題・課題の量の把握に努めていきたいと思っております。

○不審者への対応

不審者は、小学生や女子生徒等自分より弱いものをねらいがちです。そこで、本年度は、県警(高崎警察署)の協力を得て女子生徒への防犯教室を11月30日(金)の午後に実施する計画になっています。今後も防犯に対する備えを進めていきたいと考えています。

また、通学する道が暗くて不安を感じている保護者の方もいらっしゃるようです。地域の自治会にもご協力をお願いしていきたいと思っております。

ご協力ありがとうございました。